

「真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会」設立趣意

21世紀のダム管理では、従来のダムの治水・利水機能に加えて水源地域の自立的・持続的な活性化を図り、水循環等に果たす水源地域の機能の維持や、自然豊かな水辺環境や伝統的な文化資産等の利用によって、流域の発展へ貢献する役割が期待されています。

平成16年3月に大野市において「真名川ダム水源地域ビジョン」を策定、平成17年4月に推進委員会を設立しています。又、旧和泉村においては平成17年3月に「九頭竜ダム水源地域ビジョン」を策定しています。これらの水源地域ビジョン（以下、ビジョンと言う）では、水源林の保全や活用、健全な水環境の形成、多様な水辺の活用、活発な地域間の交流等の様々な施策を実行することにより、水源地域の持続的な活性化を目指しています。

これらのビジョンを実現して行くには、地域住民、地域の関係団体、関係行政機関およびダム管理者の総合的な連携と協力のもとで、ビジョンに示された各種の施策を推進していくことが必要です。

このため、平成17年11月7日の大野市と旧和泉村の合併を踏まえ、真名川ダム水源地域ビジョン推進委員会を改組し、「真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会」を設立いたします。

平成18年2月

「真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会」委員構成

(敬称略、順不同)

福井大学 教授 野嶋 慎二
福井工業大学 教授 前田 博司
大野市長
大野市区長連合会 理事
真名川土地改良区連合 理事長
大野市観光協会 会長
九頭竜森林組合 組合長
奥越漁業組合 代表
大野市漁業協同組合 組合長
大野市連合ふわわ女性の会 会長
大野商工会議所 建設部会長
大野青年会議所 理事長
OASIS協会 会長
NPOドラゴンリバー交流会 理事長
北陸電力福井支店 技術部長
電源開発株式会社九頭竜電力所 所長
福井市建設部 部長
大野市教育委員会 教育長
福井県河川課 課長
福井県電気課 課長
福井県大野土木事務所 所長
福井県奥越農林総合事務所 所長
近畿中国森林管理局福井森林管理署 署長
近畿地方整備局河川管理課 課長
近畿地方整備局福井河川国道事務所 所長
九頭竜川ダム統合管理事務所 所長

水源地域ビジョンとは

「水源地域ビジョン」は、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることを目的として、ダム水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定主体となり、下流の自治体・住民や関係行政機関に参加を呼びかけながら策定する水源地域活性化のための行動計画です。

詳細は国土交通省 土地・水資源局 水資源部のホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/river/kankyousuigen/index.html>

真名川ダム水源地域ビジョンとは

真名川ダムは、大野市や下流の福井平野の住民の生命と財産の安全（治水）、河川の水環境の保全と維持および水利用（利水）の面で、経済の発展や住民の安全で快適な生活のため、大きな役割を果たしてきました。

21世紀の時代となった現在、これからのダムの役割には、豊かな自然と広大な水面をもつダムと個性豊かで伝統的文化を持っている大野市における自立的・持続的な振興、ダム本来の役割である「治水」「利水」「環境」それぞれの機能の発揮、また流域全体の均衡ある発展が期待されています。

「真名川ダム水源地域ビジョン」は、こうしたダムへの期待の実現に向けて、流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図る総合的な整備への転換を目指したものであり、総合的な施策によって大野市や真名川ダム周辺地域の振興・活性化を図るための行動計画です。

九頭竜ダム水源地域ビジョンとは

九頭竜ダムは福井県大野市に位置し、九頭竜川において度重なり発生していた洪水への対策及び電力供給を目的に、昭和43年に完成した多目的ダムです。

従来、ダムは洪水調節、利水など主に下流地域の洪水被害の軽減や産業経済の発展や快適な市民生活のための利用に関心が向けられていましたが、これからの持続可能な地域循環型社会においては、従来のダム効果に加えて、水源地域の豊かな自然、伝統文化、地域性豊かな物産等を活用した水源地域の振興を図り、流域としてバランスのとれた発展が期待されています。

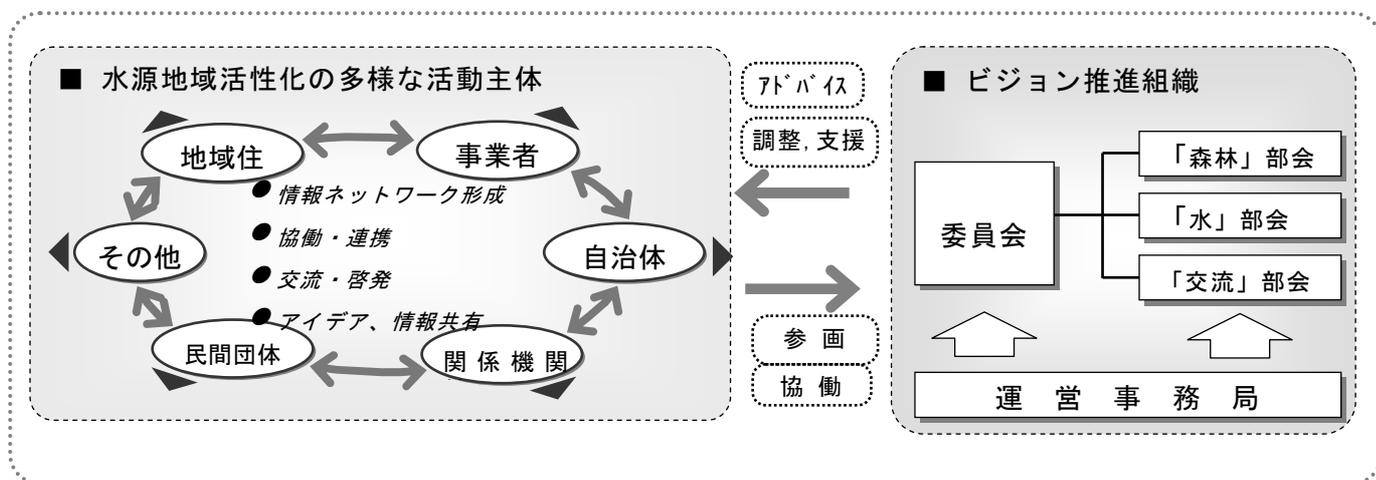
九頭竜ダム水源地域ビジョンは、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化と、流域内の連携と交流による流域圏の発展を実現していくために策定する水源地域「大野市」の活性化のための行動計画です。また、地域活性化や水資源の総合的な保全と活用に関して既に実施・展開されている様々な施策とともに、地域の住民、自治体、関係行政機関およびダム管理者が協力し、連携と交流による流域圏のさらなる発展を図ることを目的としています。

ビジョン推進組織の構成と多様な活動主体との協働イメージは

○委員会の役割は①部会活動への助言、部会活動相互の調整、②ビジョン実施状況の確認、実施効果の評価③必要に応じたビジョンの見直し・改定です。

○事務局の役割は①委員会、部会の運営事務、②委員会、部会活動のサポートです。

○部会の役割は①多様な地域活動主体間のコーディネート、活動のサポート、②活性化施策の内容、実施手法等の検討、③施策実施状況等の委員会への報告、④総合的な施策や協働実施施策等の活動主体です。



地域活動の広がり
地域の機運、熱意、
やる気の高まり

